

	メディア	特徴
新聞+ ニュース サイト		世界の日々のニュースを刻々と伝えてくれる新聞及びニュースサイト。 日本中心志向にならないように、日常の情報収集の一部にぜひ取り入れたい。
	The Wall Street Journal	米国の経済金融に強い日刊紙。 日本語版は充実しているが、本格的に記事を読むには有料会員になる必要がある。
	The New York Times	国際政治経済についての秀逸な記事が多い世界のリーディングニュースペーパー。 最近ではビジネスや最先端テクノロジーについての記事も充実している。 貧困や人権問題についても鋭く深い記事が多い。
	Financial Times	経済金融の分野のリーディングニュースペーパー。 英語も他の英字紙に比べると比較的平易。 日経が買収したので日経に翻訳記事が掲載されることも多い。
	HuffPost	2005年に創刊されたインターネットメディア。 従来のメディアでは報道しないような本音の鋭い論調やブログが人気。 海外に関心のある若い人の中では人気がある。日本語版も充実している。
	Reuters	グローバルな通信社で最大手のロイターの日本語版は経済金融情報を中心に無料サイトでも大変に充実した内容になっている。 日本語版サイトでも、世界のニュースや最先端ビジネスのニュースが充実している。
	Japan Times	日本についての報道を英語で読むには最適。 英語は平易。日本人以外の読者も念頭においているので、日本語メディアと違った視点を 得ることができる。
テレビ+ ニュース サイト		グローバルの視点を強化するには映像が欠かせない。特にテクノロジーの進展が著しい時代には、映像でニュースを収集することが重要である。以下のサイト以外にもyoutubeなどで常に検索する。
	C N N	やや米国の視点がすぎる点はあるが世界の様々なニュースを扱う点では世界最高レベルの影響力を持つ。ニュース専用テレビとして有名なC N Nだが意外と日本語サイトも充実している。C N Nの取材網を生かした世界の記事が満載です。
	B B C	かつての大英帝国の良い意味での名残があり中東やアフリカのニュースも多くグローバルな視点が養える。私はテレビニュースは日常的に視聴。日本語版サイトもある程度充実している。
	Bloomberg TV	経済、ビジネス、テクノロジーなど幅広く扱っている。
雑誌		週刊又は月刊でその時々の世界の動きを象徴する出来事を深掘りして解説する。 日々のニュースが断片的になるので週刊又は月刊で深めることは大事である。 以下の5つの雑誌はどれも世界の経済ビジネスから政治、テクノロジー、文化、社会など幅広い分野を扱っている。 相性の良い雑誌を1つは購読したい。
	The Economist	クオリティ・マガジンとして世界の言論界をリードしている。 グローバルで自由主義的な視点が特徴。世界のあらゆる地域を網羅しており、テーマも幅広い。サイエンス・テクノロジーの記事に秀逸なものが多い。 高い英語力が必要。日本語版のオンラインサービスがある。
	Bloomberg Businessweek	経済、ビジネス、テクノロジーなど幅広く扱う。 世界のトップブランド企業やM B Aなどのランキングが有名。
	Time	写真が充実しており写真を見るだけでも学びがある。英語は比較的難解である。
	Forbes	幅広い経済ビジネスニュースを扱う月刊誌。長者番付が有名。日本語版もある。
	Newsweek	政治経済だけでなく社会文化など幅広く記事を扱っている。日本の視点ではない世界の視点が養える。日本語版でも手軽に読めるグローバルメディアとしては最適。